レッスン：SPA No. 87

テーマ：14芒星と意味

SPA87/KE01/J7/31/1/01

私の姉妹、兄弟たち、

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

　　前回のレッスンではいわゆる14芒星についていくらか説明しました。その中で述べたように、このシンボルは「生それ自体」から各現在のパーソナリティーに直接に提供されているものです。それは潜在能力のサイクルの中における助けではありません。それはシンボルであり、人間が実存の諸世界にいる間に従うべき特定の道を示しています。そしてこの道は全ての人間にとって全くおなじです。

　　14芒星の中心には14のポイントがあると述べ、そのうちの7つはこの14芒星の真ん中を通る水平線から上向きで、他の7つは下向きであると述べました。しかし、今のところは、そのように分けられている理由は話しません。

　　そしていわゆるヤコブの梯子との関係があると、分析しました。ヤコブの梯子の各ステップは過去のレッスンで述べたように、アークエンジェルとの特定の同調を意味しています。そしてそれは勿論、そのパーソナリティーがその真の本質から何かをもっと表現することができるようになることを意味します。そして結局、「生それ自体」からより多くを現すのは真理の探究者の努力です。

　　14芒星の各ポイント、あるいはステーションは何を意味しているのでしょうか？それはヤコブの梯子の各ステップと全く同じでしょうか？14のポイントがあり、それはこのシンボルの周囲にあります。

　　さて、このシンボルと現在のパーソナリティーとの真の関係とは何でしょうか？現在のパーソナリティーはそのシンボルに関してどのように関係するのでしょうか？それについて明確にしましょう。

　　私たちが初めて転生する時、このシンボルのどこに、どのポイントに立つのでしょうか？あるいはどこか他のところに立つのでしょうか？初めての転生の時、私たちはいわゆる本能的意識、潜在意識を現します。潜在意識？繰り返しますが、私たちは本能を現しています；最初の転生の時には、本能的意識のセルフエピグノシスがあります。一番低いポイントに立つのでしょうか？そして、一番低いポイントとはどれでしょうか？そうなら、誰がそれを特定するのでしょうか？答えはノーです。そのパーソナリティーは14芒星のどのポイントにも立ちません、そうではなく、点として真ん中、中央に立ちます。

　　ですから、最初の転生をスタートし、その後は潜在能力の2番目のサイクルに到達するまで多くの転生が続きます。しかしこれらの意識の動き、つまりより高い気づきの表現に向けた意識の動き、それはシンボルのなかの点としてとどまるのでしょうか？違います。その点は少しずつ大きくなり、直径をもつようになり、小さな円となり、さらにその円は大きくなっていきます。このプロセスはどのくらい続くのでしょうか？それは潜在能力の次のサイクルをマスターするまで続くでしょう。そして明確にさせましょう。

　　潜在能力の最初のサイクル、そして2番目のサイクルがありますが、両方とも地のエレメントのなかにあります。しかし、2番目のサイクルをマスターした後は、現在のパーソナリティーは大きな四面ピラミッドのなかに入り、もはや地のエレメントのなかにはいません。

　　このシンボルに関して、そのとき人間はどこに立つのでしょうか？そうです、円は大きくなり、より大きな直径をもつようになり、円周は内側のポイント、14芒星の内側の14のポイントに触れます。なぜなら、外側のポイントと内側のポイントがあるからです。

Page2

　　これら内側のポイントは何を意味するのでしょうか？それらは様々なステップ、パーソナリティーが経験すべき様々なステーションを意味しています。なぜなら、現在のパーソナリティーが2番目のサイクルをマスターすると、そのパーソナリティーは意識的意識のセルフエピグノシスを表現するようになるからです。すべては異なった意味、本当の意味を持つようになります。そのパーソナリティーは何が正しく、何が間違っているかを知り始めるようになり、そのサイクルのなかで、その現在のパーソナリティーはエゴイズムの全ての様々な側面が意識的にわかるようになります。

　　それが始まりとなり、後になってパーソナリティーは自分の現在のパーソナリティーを強化させ、その結果パーソナリティーがそのサイクルをマスターする頃にはエゴの様々な側面を除去し、殺すことができるようになります。

　　そして、このシンボルに関する真のワークが始まるのです。パーソナリティーに意識的に良い結果をもたらす全ての体験、真の体験は、現在のパーソナリティーが意識としてこのシンボルを自分の頭上に置くようになる時に始まるのです。皮膚に傷をもたらすのは外側のポイントではなく、この内なるポイントです。

　　ですから、三番目のサイクルをマスターすると、円は大きくなりました。そして意識のなかの内側のポイントはとても深くなります。その時から、現在のパーソナリティーはいわゆる超意識的意識のセルフエピグノシスを現すようになります。そして勿論、潜在能力の4つめのサイクルをマスターした時には、自動的に5番目のサイクルも加わります。

　　さて、このシンボルですが、それは何を意味しているのでしょうか？現在のパーソナリティーはこのプロセス、これらのステーションを必要としないのでしょうか？現在のパーソナリティーは以前に異なった気づきのレベルを現していた、つまり別のレベルの制限ある現れ、「生の真の本質」の制限ある現れを現していたのでしょうか？

　　外側の14のポイントはどうなのでしょうか？これが生じた時、14の外側のポイントは前と同じなのでしょうか？答えはノーです。自動的にこのシンボルは円になり、ポイントの代わりに円を持つようになるのです。しかしポイントはどうなるのでしょうか？それらは円の内側にあるのでしょうか？答えはイエスです。今やそれらは何を意味するのでしょうか？

　　内側の14のポイントがあり、外側の14のポイントがあります。外側の14のポイントは、自己実現した現在のパーソナリティーが他の同胞の人間たちの重荷を背負う能力を示しています。マスターした現在のパーソナリティー、それはこのシンボルをマスターしたという意味ではなく、自分の諸体をマスターしてという意味ですが、そのような現在のパーソナリティーは同胞の人間たちの現れがどのレベルにいようとも、あらゆる人間を助け、その人たちの苦しみを背負うことができるのです。結局、最愛のお方、ゴルゴダの道におけるあらゆるステートを経験した人は無知のステートにいたのでしょうか？勿論、ノーです。

　　ですから、このシンボルがあり、2つの異なった道からアプローチすることができます。一つの道は何であれその制限、限界内にあるものを意味し、2番目の道は外側の形です。しかし勿論、前に説明したように、外側の形は後になると異なった様相を取るようになります。なぜなら、それもまたそれを取り囲む円があるからです。

　　同じことがヤコブの梯子についても言えます。ヤコブの梯子の様々なステップを昇り始めるためには、人間は潜在能力の2番目のサイクルをマスターしている必要があり、それ以前は不可能です。なぜなら、そのとき初めて、現在のパーソナリティーはドアーを開くことができるからです。それはガブリエルの監督下にあり、そして主のアベニュー（＊大通り）に入るのです。

　　ですから、このシンボルがあり、人間は2番目のサイクルをマスターした後に、それを自分の頭の上に置く必要があるのです。そして内側のステーションはそのポジションから先へとスタートします。なぜなら、それは内側のステーションであり、人間が自分の諸体を完全にマスターするまでにそれを経験する必要があるからです。

　　今晩はこれ以上は続けません、次のレッスンでこの続きを話します。

質問

Q:「内側のステーション」についてもう少し詳しく説明してくれますか？

K:　なぜなら、外側のステーションもあるので内側のステーションと言っています。各星について外側のポイントと内側のポイントがあります。ですから外側のポイントと同じ数の内側のポイントがあります。

Q:　幾何学的見地からはあなたが言うことを理解できますが、私はそれがどのように関係するのかを理解したいのです…。

K:　なぜなら、現在のパーソナリティーは現れの制限のなか、限界のなかにいて、このシンボルの周囲には到達しません。パーソナリティーはこのシンボルに述べられている制限の中にいます。実際、人間が制限ある現れのなかに入るのを助けたのはこのシンボルなのです。なぜでしょうか？なぜなら、それは誕生のシンボル、物質の誕生だからです。これはつまりベツレヘムの星です。それは肉体の誕生を象徴しています。

　　このシンボルを関係づけたものに関してあなたはどう思いますか？このシンボルと関係するエクササイズを覚えているでしょうか？このシンボルを太陽神軽叢の中心に置きました。しかし、内側にある受胎したばかりの胎芽がそれ自身を養い始めるのはそこからであり、その後どんどん大きくなり形を帯びるようになります。生命は実際そのポジションと関係しています。ですから、このシンボルは肉体と直接関係しており、現在のパーソナリティーに肉体が提供された時初めて、私達が現れの制限を持つようになります。

　　そうです、肉体が提供される前は、たとえ実存の諸世界における現れであっても、そこでは生(Life)の本質は十分に現れていました。しかし、肉体を持った後は、生はその真の本質が現されなくなり、私たちは制限ある現れの中にいるようになりました。そして人間がこれらの制限から自由になるためには、このシンボルで述べられている様々な段階を経なければならないのです。そしてそれら全てのステージ、段階は外側のポイントの周囲にあります。そして中心からスタートして、徐々に意識の拡大は外側の周辺に触れるまで大きくなっていき、意識は円というシンボルを持つようになるのです。なぜ円なのでしょうか？なぜなら、現在のパーソナリティーは自己実現し、永劫のなかにあるからです。その時には、現在のパーソナリティーを再び制限ある現れのなかに置こうとするものはありません。

Q:　それは内側の円が拡大し始めると、外側の円も育ち始めるということですか？なぜなら、さもないと、外側の円が内側に入ってしまうからです。それはジグザグのように進み、ポイントが育っていくと、空間も満たされていき、2つが共に働いていくのでしょうか。

K:違います。意識が拡大すると、ポイント、スポーク（＊傘の骨に相当するもの）は私たちの頭のなかにどんどん深く入っていきます。それはつまり、私たちがなんであれ生が与えるものとより深くつながっていくことを意味します。そして何が正しく、何が間違っているのかをより良く理解できるようになり、罪悪感もより強くなります。それゆえに、私たちは今やさまざまなステーションをより意識的に経験しているのです。それは現在のパーソナリティーにとって大きな助けとなります。たとえいろいろな状況が現在のパーソナリティーに何をもたらそうとも。なぜなら、大きくなるのは内側の円であり、内側のポイントがどんどん深く入っていくのです。それは茨の王冠を最愛のお方の頭の上に置くようなものです。主を痛めるのは外側のポイントではなく、内側のポイントです。そして現在のパーソナリティーが様々なステーションを経ることによって、外側の円が形成されていきます。人間が終点、外側のポイントに行き着くのは、外側からではなく、内側からなのです。それは内側から外側へといくのです。

Q:つまり、様々なステーションが同時にワークされる（＊学ばれる）ということですか？

K:　そうではありません。動きが同時に進行するのではありません。これについては将来、見ていきます。現在のパーソナリティーはその人の気づきのレベルに応じて進み、あるポイントへと進んでいきます。

Page4

Q:　あなたはこの星の方向について述べました。ある意味では垂直に、そして別の意味では水平にと。そして頭のところではより水平になりますが、これは意味があるのですか？

K: 全く意味はありません。

Q:　あるいは上から下へも？

K: それは関係ありません。しかし、人間は潜在能力の2番目のサイクルをマスターして初めてそれを自分の頭の上に置きます。それ以前ではありません。

Q: それでは14のポイント、14のステーションは人が経るべき経験を示しているのですか？

K:　何か特定のものということではありません。覚えているかもしれませんが、過去のレッスンで何回も7つのサイコノエティカルな層があり、各層にはまた7つの亜層があるといいました。つまり合計49のバイブレーションの層があり、現在のパーソナリティーとしての人間はその中の1つに入るのです。入る？説明したように、今でも、現れとしての私たちはサイコノエティカル界の一つの層あるいは亜層に属しているのです。また覚えているかもしれませんが、この宇宙には気づきと同じぐらい多くのサイコノエティカル界がある、とも言いました。それはどういう意味でしょうか？そうです、層（プレーン）があり、それは聖霊によって築かれていますが、その層がある一定の数の様々な気づきを受け入れることができます。ですから、範囲があります。ですから、例えば、この層に属するそれら個々のレベルから別のレベルまで、その層に属するいくつかのグループがあり、その層のバイブレーションは全てが同じバイブレーション、同じ気づきのレベルというわけではありません。それぞれのステーション、ヤコブの梯子のそれぞれの段階に関しても、同じことが言えます。2人の人間が同じステーションである時、彼らが同じ経験、同じ数の転生をしているというわけではありません。時には、転生の数においても、気づきのレベルにおいてさえも大きな違いがあることがあります。それでも彼らは同じステーション、ヤコブの梯子の同じ段階、ステップにいるのです。サイコノエティカル界の各層または亜層には、たくさんの数、たくさんの転生があり、それでも私たちは同じ層、亜層に属しているのです。そのような仕組みになっています。

Ｑ：潜在能力の2番目のサイクルをマスターする迄は、それらの点は拡大し、動いています。それらのステーションは何に触れているのですか？

Ｋ：ステーションの真のワーク、それは現在のパーソナリティーに非常に効果的な影響をもたらすのですが、それは現在のパーソナリティーの3番目のサイクルに入った時にスタートします。それらのレッスンで述べたように、その時初めて現在のパーソナリティーはいわゆる意識的意識のセルフエピグノシスを現し始めるのです。

　　制限の中、地のエレメントの制限のなかにいるということ、それはパーソナリティーが地のエレメントのなかにいることを意味します。どの方向に注意を向けても、それは地のエレメントなのです。何が私たちにとって真の恩恵となるかを理解できないのです。いいですか、最愛のお方は進化・成長のプロセスのなかで、何であれその現在のパーソナリティーが経るであろうことを経験したのです。しかし同時に、彼は何であれ自己実現した現在のパーソナリティーが経るであろうことをも経験していたのです。

　　何が、他の同胞の人間達を助けるためのこのような能力を与えるのでしょうか？それは外側、14芒星の外側のポイントです。そして勿論、現在のパーソナリティーはその14芒星のなかにあるこの円によって示されています。あるアイコンではこの円が最愛のお方の一番上にあるのを見ることがあるでしょう；全ての人がそれを視覚化できるわけではありませんが。

Q:　私は14という数に興味を持っています。私にとってそれは7の2倍です。それは７，７の2倍と関係あるのでしょうか？

K:　勿論、それはある程度関係あります。なぜなら、上向きの7つのポイント、そして下向きの7つのポイントがあるからです。アークエンジェルの7つのオーダーがあり、アークエンジェルの7つ表現、つまり創造界があります。それは合計すると14になります。ヤコブの梯子の14のステップです。勿論、７と14という数字の間には関係があります。偶然ではありません。それゆえに14という数があるのです。残念なことに12というシステムがありますが、それは間違っています。

　　Page5

14のステップがあり、ミカエルの監督下にある10のステップの梯子があります。それは人間によるこのステート（そこでは14芒星が現在のパーソナリティーに影響を与え始めます）へのロゴス的降下です。なぜなら、述べたように、この14芒星は実際に現在のパーソナリティーを物質とつなぐからです。この星はそれを行うのです。

　潜在能力の他のサイクルにおいては、違いますが。それらは能力を与えます。なぜなら、神の黙想によって述べられた能力があるからです。しかし、ここでは、これはもっと何か具体的なものです。それは現在のパーソナリティーを最大の役割を行う手段と結びつけます。それによって人間が経験を経ることができるようにです。そしてその手段、それは物質なのです。

Q:　それでは、14芒星に関する私たちの知識がつながりなのではなく、物質とのつながりであり、つまり私たちは用意ができているということですね。

K:　勿論、私たちはそれとつながっています。そして前に述べたように、転生のサイクルに入る人は最初の転生以降、毎回このシンボルを携えています。人間はこのシンボルとつながっています。このシンボルはこの諸宇宙の全ての人間にとって全く同じです。全ての人間は全く同じ14芒星をもっています。これは人間が経験する体験の詳細を決めるものではありません。違います。詳細は個人、各現在のパーソナリティーによって異なります。前に説明したように、一般的なレベルである様々なレベルはそこで決められます。

Q:　下向きの三角形において、ヤコブの梯子は聖霊的サイドであり、エゴの10の側面は右側です。それは14芒星と結びついているのでしょうか？生命の木の上におけるつながりはあるのですか？

K:　これすべてを経ていくのは現在のパーソナリティーです。勿論、関係はあります。なぜなら、私たちが進む時、創造のセルとしてのこのシンボルが提供するものを利用して進む時、それは14芒星内における私たちの意識が拡大する、円がより大きくなることを意味します。さて、もし私たちが潜在能力のサイクルが提供するものを利用して、それによって14芒星と関係する何らかのエクササイズを行うなら、答えはイエスです。私たちはより意識的にサイクルによる様々な助けを行うでしょう。同時にそのシンボルの制限内においてより意識的になりながら。

Q:それは上昇とつながるのでしょうか…？

K:勿論です。しかし、現れのワークは部屋のなかで行われます。そして部屋の中では実際的というよりもむしろ理論的です。

Q:　完全にマスターすること、それはパーソナリティーが部屋の外に出て上に上昇する…？

K:「マスターすること」はありません。なぜなら、それはマスターすることではないからです。もはやそれを必要としません。それはマスターするための助けではありません。それは潜在能力ではありません。それは人間が経なければならない特定の行程なのです。私達がこれら全ての行程を経たとき、つまり他のシンボル、潜在能力をマスターしたとき、そのときにはそれは現在のパーソナリティーが自己実現に到達したことを意味します。実際、このシンボルをマスターするということはありません。

Q:　でも潜在能力をマスターすることではないのですか？

K:　そうです。各潜在能力のサイクル内における潜在能力です。そして各サイクルには私達が経るべき道があります。

Page6

Q:　自己実現した現在のパーソナリティーが再び転生すると、14芒星と円、自己実現した現在のパーソナリティーは外側のポイントで何か達成しなければならないのですか？

K:　現在のパーソナリティーが自己実現に到達すると、このシンボルは現在のパーソナリティーの頭上にあります。

Q:それではそれ以上の目的はないのですね。

K:そのためにですか？その特定のパーソナリティーにとっていかなる目的もありません。しかし、このシンボルの目的はあります。なぜなら、それは自己実現した現在のパーソナリティーを、いまだ進化成長のプロセスにある同胞の人間たちとつなぐからです。彼らはまだこのシンボルの制限のなかにいます。現在のパーソナリティーと物質がつながっています。つまり物質は彼らの成長のための役割を演じています。なぜなら、地球上のすべての人間が自己実現したなら、自己実現した現在のパーソナリティーにとって物質にどんな役目があるというのでしょうか？何もありません。物質はもはや必要ありません。しかし、自己実現した現在のパーソナリティーが、まだこのシンボルの制限内にいる他の全ての同胞の人間とつながるためには、自己実現した現在のパーソナリティーにとってこのシンボルが必要なのです。

　　いずれにしても、このシンボルに関しては、人間にはほんの僅かしか知られていません。14芒星、14のポイント、エルサレムのゴルゴダへの道における14のステーションについて、人々はおそらく人間の想像力がそれを作り上げたのではないか、と考えています。違います。それは偶然ではありません。偶然などというものはありません。人間に役立つものすべて、それらは時間内における様々な人間からの流出として来ましたが、しかし詳細はと言えば、それらはそれら全てのシンボルに関して徐々に表面に浮上してきたのです。そして、おそらく今はその時が来ているので、このシンボルの全ての詳細が表面に来ているのかもしれません。なぜなら、いいですか、このシンボルに関して、今までは地球上でこれほど多くのことは知られていなかったと思うからです。いずれにしても、それが一般的に象徴するものは、肉体とその現れ（勿論、それはこの肉体を使う現在のパーソナリティー）の誕生のシンボルです。そしてなぜそれがこれを象徴しているかについては説明しました。

　　ですから、潜在能力のサイクルと14芒星があります。これまで述べてきた他の全ての星はこの潜在能力のサイクルのなかにあります。これは何でしょうか？それは創造の元型の中でしょうか？どう思いますか？

Q:その半分はロゴス的、半分は聖霊的ですか？

K:これはほとんど聖霊的です。意識のプロセスのなかでその本質を現すこと、それは聖霊です。

Q:内側のポイント？

K:そうです。なぜなら、そのときには完全にロゴス的ですが、しかし聖霊的現れと一緒に働いているのです。いずれにしても、私の前の質問に対する答えは、何であれ創造の諸世界内における現れは全て、このシンボルのなかにあるのです。

　　さてこのシンボルがどこで見出され、人間に与えられるか、それがどのように機能するのか、またこれを形成して、それを現在のパーソナリティーに与えるために、ロゴス的部分がいかにして聖霊的部分とつながるかについては、徐々に分析して説明していきましょう。

**レッスン SPA87 エクササイズ1**

　　目を閉じて静かに座り、心を騒がせるもの全てを解き放ちます…純白に包まれている自分をイメージし、自分の形の境界を感じます…あなたは純白のなかにいて、自分の形の境界を感じています、同時に自分が純白の五芒星のなかで守られているのを見ます…自分が肉体の全ての細胞、分子のなかにいるのを感じます…

　　それでは太陽神軽叢における感覚エーテルだけに意識を向けます…へそのあたりだけにフォーカスします…今感覚エーテルはそこだけです…今あなたには形はありません、形を置き去りにしました…それ以外の肉体のいかなる機能もあなたの注意を引くことはありません…それでは次に動きを感じます、あなたは動きを感じます、同時に刻印エーテルを使って、あなたの存在のそのポジションから非常に小さくて強力な光が来るのを見ます…なぜならあなたは今そのスポットだけに存在しているからです…この光源から非常に強い銀色の光が放射され、とても小さな14芒星が形成されます。この星は今あなたの形になっています、あなたが存在するための手段に提供されています。それはあなたの存在の境界を現しています。

　　それでは、あなたの意識が拡大するのを感じます、意識の拡大を感じます、それに伴って14芒星がどんどん大きくなっていくのを感じます、あなたの意識の動きを感じます、この星はどんどん大きくなっていきます。意識が大きくなるにつれて、あなたは前にあなたの意識が使用していた自分の肉体を感じることができます。この身体は今あなたが自分存在の手段として使っている手段の境界のなかにあります…それは14芒星のシンボルであり、それはあなたが背後に残した肉体のサイズよりも大きくなっています。

　　意識の拡大はどんどん大きくなり、五芒星も14芒星（それはあなたの意識がこの世界に存在するための手段として使用されます）の境界のなかにあります。

　　次に反対方向への動きを感じます。14芒星はどんどん小さくなります…この動きを感じます…動いているのは実際にはあなたの意識です、それを感じます…そして徐々にそれは五芒星の境界を過ぎて、肉体の境界を過ぎ、徐々に再びコインのサイズになります。

　そして14芒星のなかにある感覚エーテルを消さずに、徐々にあなたの意識を肉体の全ての細胞、分子のなかに広げます。そして今、感覚エーテルは2つの異なった段階にあります…１つは肉体の全ての細胞、分子のなかに、そして同時に腹部の中央の14芒星の中だけに。それをそこで感じます。他に動かさないでください。へその部分から、それは外側に放たれていったのです。あなたの現在のパーソナリティー全体の健康を祈ります。私たちは常に主、絶対、主の聖性によって抱かれています。終わります。

EREVNA SPA87/KE01/8/F1